Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

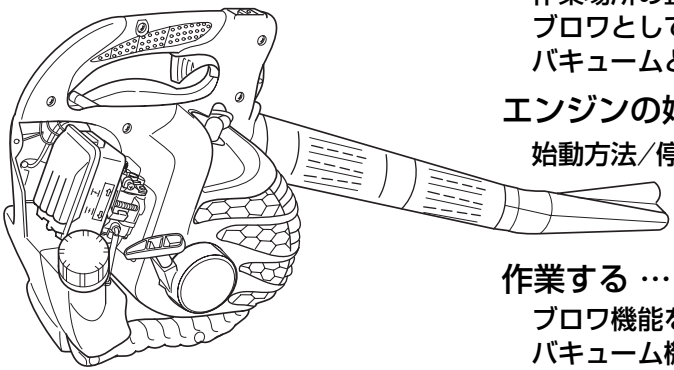
取扱説明書

用途
- 公園、庭園の落葉掃除
- 芝刈り後の清掃
- グランド、スタジアム、競技場などの掃除

陸内協排出ガス自主規制
適合エンジン搭載

日立 エンジン ブロワ　RB 24E（SP）

このたびは日立エンジンブロワをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに

警告表示について ……1
エンジン工具の安全上のご注意 ……2
本製品の使用上のご注意 ……6
各部の名称 ……7
仕様 ……7

使い方

ご使用前の準備……8
作業場所の整備／燃料の準備
ブロワとして使用する場合
バキュームとして使用する場合
エンジンの始動／停止 ……11
始動方法／停止方法
作業する ……13
ブロワ機能を使う
バキューム機能を使う

その他

保守・点検・整備 ……15
リコイルスターター
アイドリングの回転数調整
点火プラグ／エアクリーナー
燃料フィルター／マフラー
保管方法 ……17
故障診断 ……17
ご修理のときは　……裏表紙

混合燃料

燃料混合比	
無鉛ガソリン	2サイクル専用オイル
25	1

HITACHI

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。

取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意などに従って安全に使用してください。

引火しやすい燃料を使用するため、本機に火気を絶対に近づけないでください。

混合燃料を入れてください。

本機に火気を近づけないでください。

保安帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など保護具を着用してください。

本機の近くでたばこを吸わないでください。

マフラーやその周囲は、高温になりますので絶対に触れないでください。

排気ガスは人体に有害ですので直接吸わないでください。

⚠危険、⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **危険**」、「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危険 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。**

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

エンジン工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 危険

火気に注意してください。

- 燃料の補給はエンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。
- たばこを吸ったり、火気を近づけないでください。
- 燃料がこぼれたら、よくふき取ってください。
- 運転中は燃料タンクのキャップをはずさないでください。
- 燃料、可燃性ガス、その他の可燃物のある場所では使用しないでください。
- 乾燥地帯で使用する場合は、消火用具を準備してください。
  爆発や火災、やけどの原因になります。

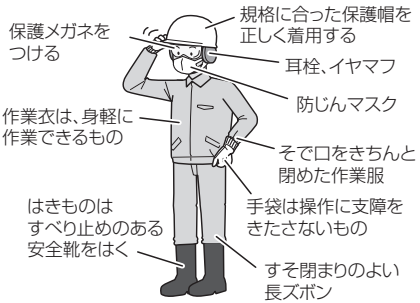
⚠ 警告

① 指定された用途以外に使用しないでください。

- けがの原因になります。

② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- 作業時は保護メガネを着用してください。
- そで口をきちんと閉めた作業服、すそ閉まりのよい長ズボンを着用してください。
- 耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
  保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。



③ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているとき、身体の調子が悪いときは、使用しないでください。
- 視覚や敏しょう性、判断力に影響するような酒類、薬物を飲んでいる人は使用しないでください。

⚠警告

④ 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

⑤ 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、エンジン工具に触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑥ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人にはエンジン工具を使用させたり、貸さないでください。

- 初めて使用する方は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

⑦ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

⑧ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

- 足もとが不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑨ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント、先端工具（刃具など）以外のものは、事故やけがの原因になるので、使用しないでください。

⑩ 始動前に先端工具（刃具など）を点検してください。

- 先端工具（刃具など）にひび割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 先端工具（刃具など）が確実に取付けられているか確認してください。先端工具（刃具など）が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑪ 始動前に各部を点検してください。

- 機体、飛散防護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、グリース、燃料漏れ、電気配線のいたみ、その他、運転に影響するすべての箇所に異常がないか確認してください。
  異常がある場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑫ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- エンジンを始動する前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑬ エンジンを始動する場合は注意してください。

- 機体を平らな場所においてください。
- 15 m以内に人や動物を近づけないでください。
- スロットルレバーがアイドルの位置にあることを確認してください。
- 先端工具（刃具など）が地面や被削材などに触れていないことを確認してください。
- 周囲にかれ草、紙くず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。
- 燃料を補給した場所から 3 m以上離れた場所で行ってください。
  不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

⚠ 警告

⑭ ストップスイッチを停止の位置にしたときエンジンが確実に止まることを確認してください。また機体から離れるときは、ストップスイッチを停止の位置にしてください。

⑮ スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので注意してください。

⑯ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足もとをしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 足もとの不安定な場所では使用しないでください。
  転倒するなど、思わぬ事故の原因になります。

⑰ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。

⑱ 回転速度をむやみに上げないでください。

- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
- 作業の負荷に応じてスロットルレバーを調整しながら使ってください。
  飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。

⑲ 次の場合はエンジンを停止し、先端工具（刃具など）の動きが止まるのを確認してください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 作業場所を移動する場合。
- 先端工具（刃具など）、アタッチメント、その他機体の点検、調整、交換などを行う場合。
- 機体に巻きついたごみや草を取除く場合。
- 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
- 機体を身体からはなす場合。
- その他、危険を感じた場合、危険が予想される場合。
  エンジンや先端工具（刃具など）が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。

⑳ 他の人を 15 m以内に近づけないでください。
また、二人以上で作業する場合も、 15 m以上離れてください。

- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
- 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
- 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

㉑ 排気ガスに注意してください。

- 屋内や換気の悪い場所で始動したり、作業しないでください。
- 建物、その他の設備に排気ガスが入らないように注意してください。
  ガス中毒や窒息の原因になります。

㉒ 作業中は点火プラグキャップ部、高圧コードに触れないでください。

- 電気ショックを受ける可能性があります。

㉓ 作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン本体、マフラー、特に排気口などに触れないでください。

- けがややけどの原因になります。

⚠警告

㉔ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにエンジンを止めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

㉕ 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があるとけがや火災の原因になります。

㉖ 機体を車で運搬する場合は、燃料タンクから燃料を完全に抜き取ってください。また、機体が動かないように固定してください。
- 火災や事故の原因になります。

⚠注意

① 本機は 2 サイクルエンジンですので、混合燃料 25：1（無鉛ガソリン： 2 サイクル専用オイル）を使用してください。
- ガソリンだけでエンジンをかけたり、混合比を間違えるとエンジンが故障する原因になります。

② 使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、先端工具（刃具など）をはずすか、カバーをかぶせてください。
- 先端工具（刃具など）が身体に触れて、けがの原因になります。

③ 機体は注意深く手入れしてください。
- 安全に効率よく作業していただくために、先端工具（刃具など）は常に手入れし、刃具類はよく切れる状態にしてください。
- 付属品やアタッチメントの交換、機体の手入れ、注油などは取扱説明書に従ってください。

④ 修理は専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
  ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- ストップスイッチは停止の位置にして保管してください。
- 燃料を抜き取り、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。

⑥ 燃料は安全な容器に入れ、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。

⑦ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。
- 警告ラベルはお買い求めの販売店にお申しつけください。

⑧ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。

本製品の使用上のご注意

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、エンジンブロワとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **エンジンを始動するときは、周囲（15 m以内）に十分注意し、エア噴出口は人や動物、自動車、ガラス窓などに向けないようにしてください。**
- 誤操作などで、不意にエアが噴出したときけがの原因になります。

② **作業場所にガラス、ビンなどがないか確認し、ある場合は取除いてから作業してください。**
- エアで吹き飛ばされると、けがの原因になります。

③ **エアの吹き出し口を人や動物に向けないでください。**
また、飛散物の落下位置、方向を予測しながら作業してください。
- ごみや飛散物が当たるなどけがの原因になります。

④ **扇形噴筒や防じんアミを手や布、紙などでふさがないでください。**
- エアの噴出や吸入を妨げられると、回転が異常に速くなり故障やけがの原因になります。

⑤ **付属のパイプやダストバックなしでエンジンを空ぶかししないでください。**
- エンジンの冷却風が減少し、故障やけがの原因になります。必ず付属品を取付けた状態で作業してください。

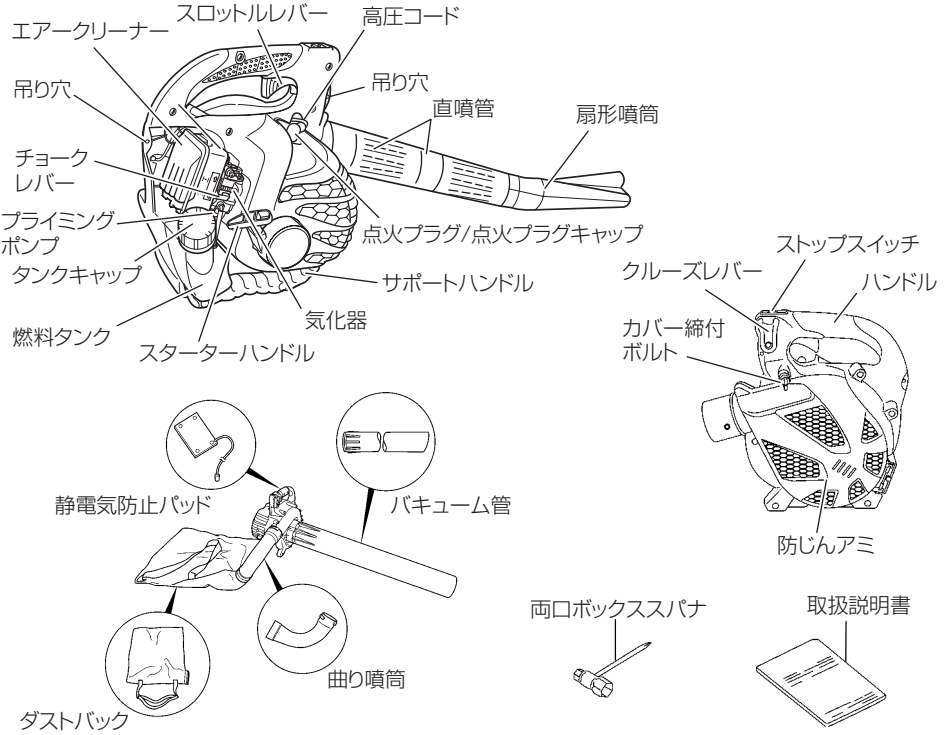
⚠注意

1日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。
長時間の連続使用を避け、30分作業したら10分以上休憩してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称



仕　様

形　　名（仕 様）	RB 24E（SP）
型　　式	強制空冷 2 サイクルガソリンエンジン
排　気　量	23.9 mL
気　化　器	ダイヤフラム型（プライミングポンプ付）
点 火 プ ラ グ	CJ6 チャンピオン
使　用　燃　料	混合燃料　無鉛ガソリン：2 サイクル専用オイル（25：1）
タ ン ク 容 量	0.6 L
エ ア ク リ ー ナ ー	オイル半湿式
始　動　方　法	リコイルスターター式
停　止　方　法	アース式
寸法（全長×全幅×全高）	365 × 269 × 360 mm
質　　量	4.6 kg

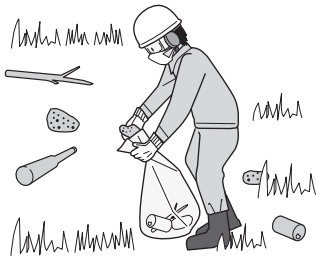
ご使用前の準備

●作業場所の整備

作業場所および周辺の環境をよく観察し、けがや事故、故障の原因になると予想できる物が作業場所にないか確認し、ある場合には、あらかじめ取除いてください。

特に、作業時足場となる部分については、不安定であったり、つまずいて転んだりする物がないように整備してください。

空き缶や金属片などはブロワで送風されると、思い掛けない方向に飛ばされることがあり、けがや事故の原因になります。また、バキューム機能で吸い込むと、故障の原因になります。



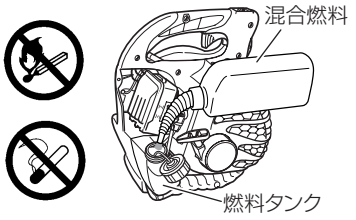
●燃料の準備

⚠危険

- **燃料給油中はタバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。**
  火災またはやけどの原因になります。
- **給油中に燃料をこぼしたときは良くふき取ってください。**
- **燃料は金属製の燃料缶に入れて、火気のない場所で保管または運搬してください。**
  樹脂製タンクに入れて保管または運搬しますと、静電気が発生し発火することがあります。

燃料は混合燃料 25：1
(無鉛ガソリン：2 サイクル専用オイル)を使用してください。
別容器でよく混ぜてから燃料タンクに入れてください。
こぼれないように、燃料タンクの口元一杯まで入れないで 8 分目程度にしてください。

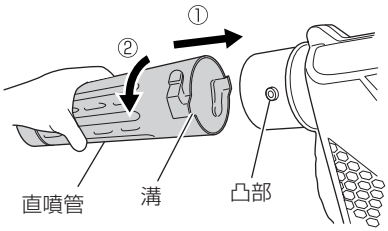
注
- **燃料は、必要以上に混合しないで、作業に必要な量をその都度準備してください。**
  1 ヶ月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因になります。
- **燃料を樹脂製タンク内に保管しないでください。**
  樹脂の成分が燃料の中に溶けだし、気化器が故障する原因になります。特にペットボトルなどは使用しないでください。
- **ガソリンだけで絶対に運転しないでください。**
  エンジンが故障する原因になります。



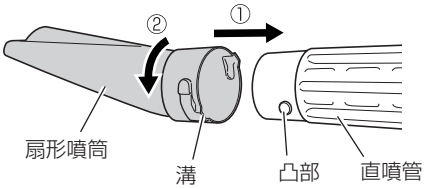
●ブロワとして使用する場合

本体は組立済みですので付属品（パイプ類）
の取付けのみで使用できます。

1 直噴管を本体に取付けます。
本体側凸部に直噴管の溝を合わせ、
直噴管をさし込み（①）矢印（②）の
方向に止まるまで回して固定します。
同様にもう1 本の直噴管を固定します。

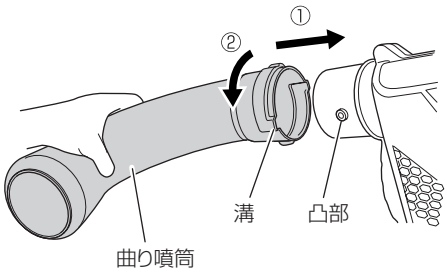


2 次に同じ方法で扇形噴筒を直噴管に
接続します。
パイプ類の取付けが完了すると、
P 7「各部の名称」の図のようになり
ます。



●バキュームとして使用する場合

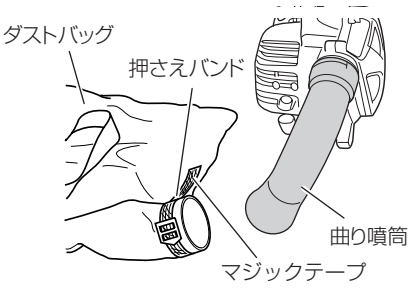
1 本体凸部に曲り噴筒の溝を合わせ、
曲り噴筒をさし込み（①）矢印（②）の
方向へ止まるまで回して固定します。



⚠警告

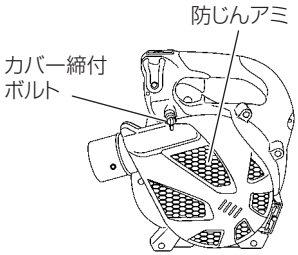
**ダストバッグは、必ず曲り噴筒に取付
けてください。**
本体に直接取付けると、ダストバッグが
マフラー排気口に接触し、火災ややけど
の原因になります。

2 ダストバッグの取付穴を曲り噴筒の
細くなった部分までさし込み、押さ
えバンドで確実に固定します。
固定しましたらバンドを張った状態で
端にあるマジックテープで固定します。

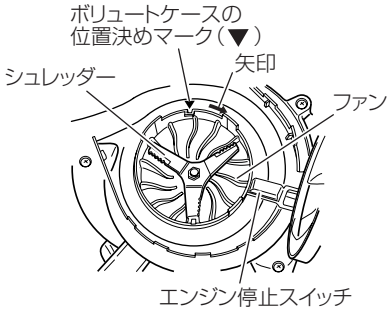


⚠警告

防じんアミはエンジンを停止してから開けてください。
エンジンが起動している状態で防じんアミを開けるとエンジンが停止する構造になっていますが、万一、誤動作した場合大変危険です。



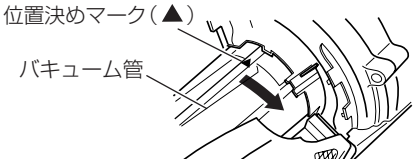
3 カバー締付ボルトをゆるめ、防じんアミを開きます。



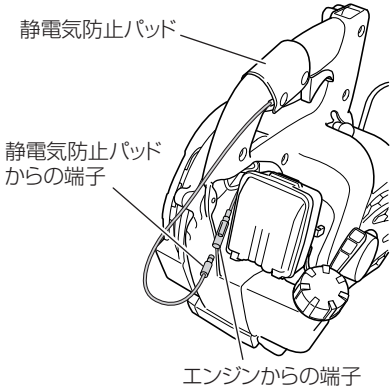
4 バキューム管にある位置決めマーク(▲印)とボリュートケースの位置決めマーク(▼印)を合わせ、バキューム管をボリュートケースにさし込みます。
次にバキューム管を矢印方向に止まるまで回して固定します。

⚠注意

バキューム作業中に静電気が発生する可能性がありますので作業前に静電気防止パッドをハンドルに取付け、パッドを握り作業してください。



5 エンジンから出ている端子と静電気防止パッドの端子を接続します。
次にパッドを図の様にハンドルに取付けます。
取付けが完了すると、P7「各部の名称」の図のようになります。

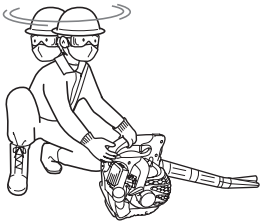


エンジンの始動/停止

⚠警告

エンジンを始動する場合は次のことに注意してください。

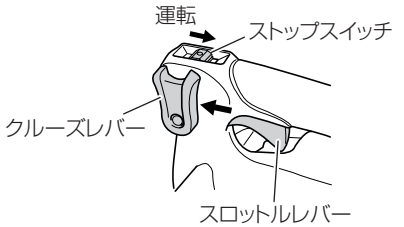
- **機体を平らな場所においてください。**
- **15 m以内に人や動物を近づけないでください。**
- **スロットルレバーとクルーズレバーがアイドルの位置にあることを確認してください。**
- **扇形噴管やバキューム管の先端が吹き飛ばしたり吸い込んでしまう物に向いていないことを確認してください。**
- **周囲にかれ草、紙くず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。**
- **燃料を補給した場所から3 m以上離れた場所で行ってください。**



不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

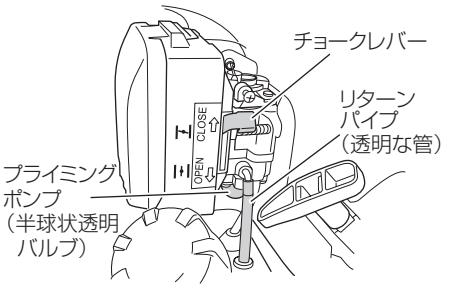
●始動方法

1 スロットルレバーとクルーズレバーがアイドルの位置に戻っているのを確認して、ストップスイッチを運転の位置にします。



2 リターンパイプに燃料が流れるまで、プライミングポンプを繰り返し押してください。

3 チョークレバーを閉(CLOSE)にします。



4 図のように左手でハンドル部をしっかり押さえ、エアクリーナーを膝で押しつけてからスターターハンドルを最後まで引ききらない程度まで数回力強く引いてください。

注 **引いた後ハンドルを手放さないでロープをゆっくり戻してください。**

5 初爆（ポン、ポンという爆発音）があり、そのまま継続していたらチョークレバーを徐々に開（OPEN）の位置にしてください。

注 **エンジンがかかると、送風／吸引がはじまります。**

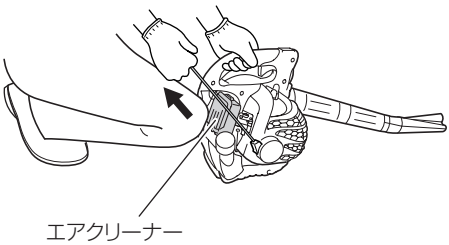
6 **4** の操作で 2～3 回爆発して停止したら、チョークレバーを開（OPEN）の位置にして、再度スターターハンドルを引いてエンジンを始動してください。

7 **6** の操作でも始動しない場合は、**3** からの操作を繰り返してください。

8 始動したら使用前に低速回転で 2～3 分間暖機運転をしてください。
（スロットルレバーを放すとアイドル位置に戻り、低速回転になります。）

⚠警告

- **スロットルレバーを握ったまま、またクルーズレバーを手前に引いたままエンジンを始動しないでください。**
急に送風、吸引が始まり、事故の原因になります。
- **スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。**



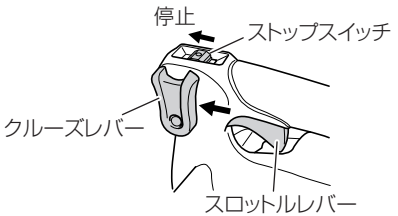
注 **ご購入後、初めてお使いになるときは、エンジン各部のなじみを十分にするため、最初から 10 時間ぐらいまであまり回転を高くしないで作業し、ならし運転をしてください。**

●停止方法

⚠警告

機体から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

エンジンを停止するときは、スロットルレバーを放し、クルーズレバーを矢印方向に戻し、低速回転になってからストップスイッチを停止の位置にしてください。



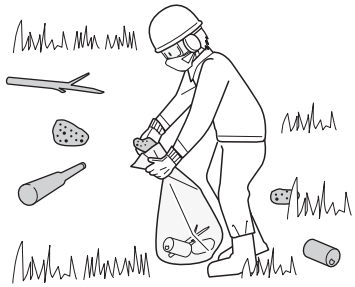
作業する

⚠警告

- 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。
- 雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。
- バキューム作業をするときはダストバックのストラップを肩に掛け、両手でハンドルをしっかり持ち作業してください。
- ブロワ作業を行うときは、送風方向に人や窓ガラスなど壊れやすい物がないように考慮してください。
- 狭い場所などで作業したり、風上に向かって送風すると、吹き飛ばした物が自分に跳ね返ることがありますので注意してください。
- 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上離れてください。
- エンジンをかけたまま本機を放置しないでください。

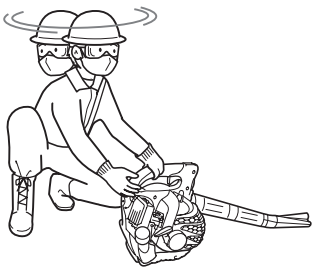
1 作業場所を整備する

吹き飛んでけがや事故の原因になりそうな物、吸込んで故障の原因になりそうな物は、あらかじめ取除いてください。
（P 8「作業場所の整備」参照）



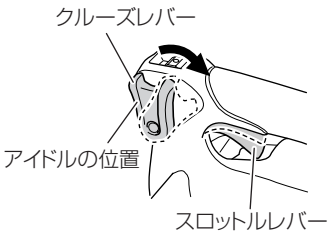
2 エンジンを始動する

- スロットルレバーとクルーズレバーがアイドルの位置にあることを確認してください。
- 扇形噴管やバキューム管の先端が吹き飛ばしたり吸い込んでしまう物に向いていないことを確認してください。
（P 11「エンジンの始動／停止」参照）



クルーズレバーについて

- クルーズレバーは、スロットルレバーを握らずにエンジン回転数を調節できる装置です。
- クルーズレバーを手前に引くと回転数が上がり、スロットルレバーを握らなくても作業できます。
- エンジンを切るときは、必ずクルーズレバーをアイドルの位置に戻してください。
  次に、エンジンをかけたとき、急に送風／吸引が始まり事故やけがの原因になります。



●ブロワ機能を使う

⚠注意

左手でハンドルを握り作業する場合は、エンジンからの熱風に注意してください。
やけどをする恐れがあります。

- ブロワとして使用する場合は片手で操作します。
  右左のいずれかでハンドルを握り、スロットルレバーで回転数を調整しながら作業します。
- あらかじめ、落ち葉やゴミを集める場所を決めて、風上から作業するように計画してください。
- 扇形噴筒を地面に近づけ、スロットルレバーの引きかげんで風量を調整しながら落ち葉等の清掃します。

●バキューム機能を使う

⚠注意

砂利や小石、空き缶、ビニール紐、小枝等を吸い込まないよう注意してください。万が一吸い込んだ場合は、ただちにエンジンを停止し、取除いてください。
破損、故障の原因になります。

- バキュームとして使用する場合は両手で操作します。
  左手でハンドルを右手でサポートハンドルを握り、ダストバッグのストラップを肩に掛けて作業します。
- バキューム管を地面に近づけ、スロットルレバーの引きかげんで吸い込み力を調整しながら落ち葉等を吸い込みます。
- 吸い込んだ落ち葉等はシュレッダー機能で粉砕してダストバッグに送られます。

保守・点検・整備

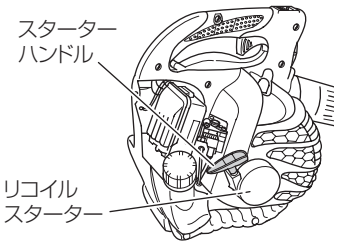
⚠注意

- 保守・点検・整備の際は、必ずエンジンを止めて機体が冷えた状態で行ってください。また、点火プラグキャップをはずしてください。
- 保守・点検・整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

●リコイルスターター

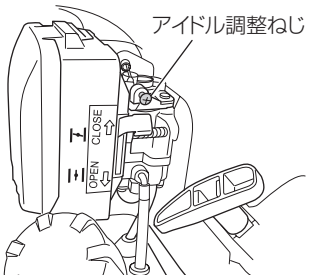
⚠警告

危険ですので、リコイルスターターを分解しないでください。
スターターハンドルが軽く引けない場合や、スターターハンドルを引いてもエンジンが始動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



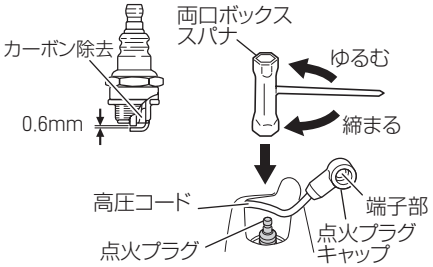
●アイドリングの回転数調整

アイドリングの回転数が高すぎるときまたは低すぎるとき（エンジンが停止するとき）は、アイドル調整ねじで調整してください。
（右回しでアイドリングの回転数が高くなり、左回しで低くなります）



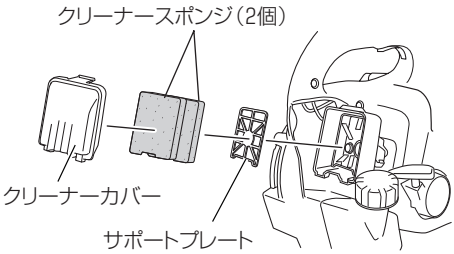
●点火プラグ

- 点火プラグは指定のものを使用してください。（P 7「仕様」参照）
- 最良の運転状態では点火プラグの電極が茶褐色に乾燥しています。
  電極のすき間は 0 . 6 ㎜です。
- カーボンが付着している場合は、ワイヤブラシなどで清掃し、ガソリンで洗い、乾かしてから使用してください。



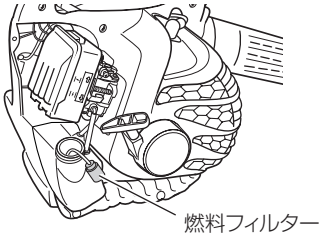
●エアクリーナー

- クリーナースポンジが汚れ、目づまり状態になると出力低下や始動困難になります。クリーナースポンジやサポートプレートは時々清掃し、汚れを落として目づまりを防いでください。
- クリーナースポンジは、ガソリンで軽く洗ってしぼり、乾燥させてから2サイクル専用オイルを少し含ませ、均一にオイルが広がるように軽く絞ってから取付けてください。



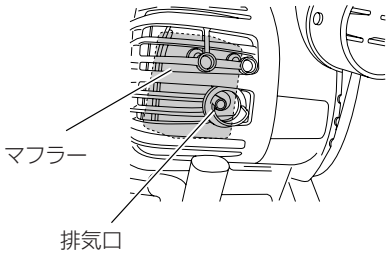
●燃料フィルター

- 燃料フィルターがつまると燃料が吸い込まれずエンジンの回転不調の原因となりますので、時々点検してください。
- 汚れているときは、針金などで燃料給油口から引き出してガソリンで良く洗ってください。(汚れのひどいときは交換してください)



●マフラー

長時間運転しますと、マフラーの排気口の内部にカーボンが付着し、出力低下の原因になります。時々、掃除してください。



保管方法

- 各部を十分に清掃し金属部には発錆防止のため 2 サイクル専用オイルを薄く塗ってください。
- 長期間（1 ヶ月以上）保管するときは、燃料タンクから燃料を抜き取ってから自然に停止するまで空運転し、気化器の中の燃料を完全になくしておきます。
- 点火プラグをはずし、プラグの穴から少量の 2 サイクル専用オイルをシリンダーに流し込み、スターターハンドルを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。点火プラグをもと通りに取付けてください。
- スターターハンドルを引っ張って圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納してください。
- ほこり、湿気のない乾燥した、また温度が 50 ℃以上にならない場所に保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に格納してください。
- 燃料は屋内の火気の心配のない、冷たい乾いたところに、安全な容器にいれて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので使用しないでください。

故障診断

⚠ 警告

修理に使用する部品は必ず指定の純正部品を使ってください。

注 「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

状 況		原 因	対 策
エンジンがかからない	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	正しい混合比（25：1）の燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている(異臭)	新しい燃料に交換する
		燃料を吸い込みすぎて、点火プラグが濡れている	1. 点火プラグをはずし、乾かす 2. スターターハンドルを 5 ～ 6 回引いて余った燃料を出す 3. 点火プラグを装着する「点火プラグ」参照 4. チョークを開きスターターハンドルを引く
		燃料パイプが折れ曲がっている。または、はずれている	燃料が流れるようにする
		気化器の不調	販売店に相談する

状況		原因	対策
エンジンがかからない	【電気系統】	ストップスイッチが停止(STOP)になっている	運転位置にする
		ストップスイッチのリード線がショートしている	販売店に相談する
		点火プラグが汚損している	交換または掃除する
		点火プラグのギャップが広い	0.6 mmに修理する
		高圧コードと点火プラグの接続が悪い	接続を直す
		電気系の異常	販売店に相談する
エンジンはスタートするがすぐ停止する 停止しそうになる	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	正しい混合比（25：1）の燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている(異臭)	新しい燃料に交換する
		2サイクル専用オイルが混合されていない	販売店に相談する
		チョークレバーが閉になっている	チョークレバーを開にする
		燃料系統に空気が混入する	燃料パイプや継手の接続を直す
		気化器の不調	「気化器」参照、または販売店に相談する
エンジンはスタートするがすぐ停止する 停止しそうになる	【電気系統】	点火ミス ●点火プラグの不良	新品と交換する
		●電気系の異常	販売店に相談する
	【その他】	エンジンのオーバーヒート ●点火プラグの番手違い	指定品に交換する「仕様」参照
		●シリンダーまわりのゴミづまり	掃除する
		エアクリーナーの汚れ	清掃する
		カーボンづまり（マフラー排気口）	清掃する
		圧縮不足(ピストン、ピストンリング、シリンダー)	販売店に相談する
異常振動が出る		各部締め付け部のゆるみ	チェックして増し締めする
		点火プラグの劣化、損傷	新品と交換する

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店	TEL(011) 896−1740(代)	〒004−0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店	TEL(022) 288−8676(代)	〒984−0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店	TEL(03) 5783−0608(代)	〒108−6020 港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
中部支店	TEL(052) 533−0231(代)	〒451−0051 名古屋市西区則武新町1丁目32番16号
北陸支店	TEL(076) 263−4311(代)	〒920−0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店	TEL(0798) 37−2665(代)	〒663−8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店	TEL(082) 504−8282(代)	〒730−0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店	TEL(087) 863−6761(代)	〒760−0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店	TEL(092) 621−5772(代)	〒813−0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社
〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
国内営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

部品コード　E99000604 G